

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ理念

企業グループとしての存在意義を見つめ直し、事業活動を通じて新しい価値を創出し、持続的成長を実現する

営業収益
3,500億円

営業利益
230億円

営業キャッシュ・フロ
300億円

ROE
12%超

② 中長期の経営戦略

1. グループ総合力結集によるトップライン…

統合ソリューションサービスの深化、サステナビリティ対応ビジネスの拡大、業際業務の深掘を推進

2. オペレーション競争力強化

標準化の徹底により人とテクノロジー融合の現場力を実現し、業務品質向上と収益性向上を目指す

3. DX推進

ビジネスモデルの変革と企業風土の改革を通じた経営基盤の強化

4. 共創・プラットフォーマー連携

イノベーション創出の仕組みづくりと各種プラットフォーマーとの提携強化

③ 対処すべき課題

① 事業環境の急速な変化対応

- ・ 存在意義の見つめ直しと中長期的企業価値向上の実現
- ・ 8項目のマテリアリティ設定とKPI管理による組織横断的推進

② ファーストコールカンパニーの実現

- ・ 顧客基盤と物流機能を活用した統合ソリューション深化
- ・ 競争優位性あるサステナビリティ対応ビジネスの拡大

③ 持続可能な成長基盤構築

- ・ 脱炭素社会実現への取組み強化
- ・ 人的資本への投資拡充とガバナンス強化
- ・ ROE12%超達成による高水準な資本効率の維持

面接で使えるポイント

- ・ 2027年3月末に営業収益3,500億円、営業利益230億円を目指す中期経営計画で統合ソリューションサービスを深化させる…
- ・ 総1,300億円投資のうち1,000億円をDXや新規設備投資といった成長領域に配分する積極的な経営戦略
- ・ 8項目のマテリアリティとROE12%超目標によりサステナビリティ推進と経営を一体化させる仕組み

証券コード 9302

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

運輸・物流業界に属する大手物流企業

主力事業・セグメント

- ・物流 97.5%
- ・不動産 2.5%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,995億円の事業規模
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
2,995億円営業利益率
7.4%財務健康度
38点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

847万円

倉庫・運輸関連業内 3位/31社

平均年齢

42.3歳

倉庫・運輸関連業内 12位/31社

平均勤続

12.9年

倉庫・運輸関連業内 23位/31社

女性管理職

12.6%

倉庫・運輸関連業内 9位/26社

男性育休

100.0%

倉庫・運輸関連業内 4位/24社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 三井倉庫ホールディングス、「FTSE JPX Blossom

